

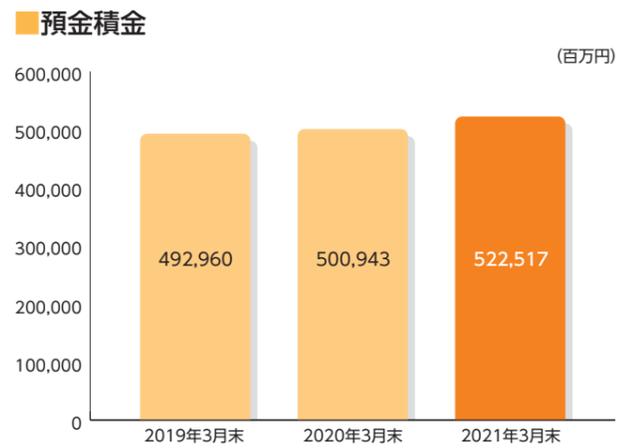
預金積金は

215億円の増加

預金積金は、新型コロナウイルス対策として支給された各種給付金や、積極的な資金繰りのご支援、安定した年金・給与振込などにより、前期比215億円増加し、5,225億円となりました。

2020年度

5,225億円



自己資本比率は

0.15ポイントの低下

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っております。2020年度は、貸出金および有価証券の残高増加からリスクアセット等が増加し、自己資本比率は前期比0.15ポイント低下の10.75%となりましたが、健全性の目安とされる国内基準4%を大幅に上回っております。

2020年度

10.75%



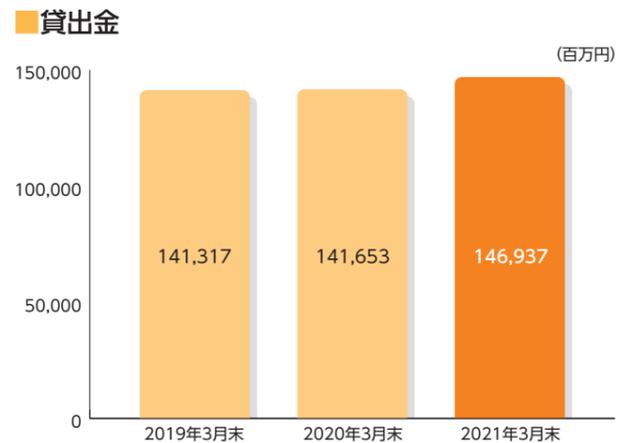
貸出金は

52億円の増加

貸出金は、事業者のお客さまには制度融資や新型コロナウイルス対策特別融資等による資金繰りのご支援、課題解決に着目したご融資のご提案を行い、個人のお客さまには住宅ローンや各種個人向けローンについて特別金利でのご提供を行ったことなどにより、前期比52億円増加し、1,469億円となりました。

2020年度

1,469億円



不良債権比率は

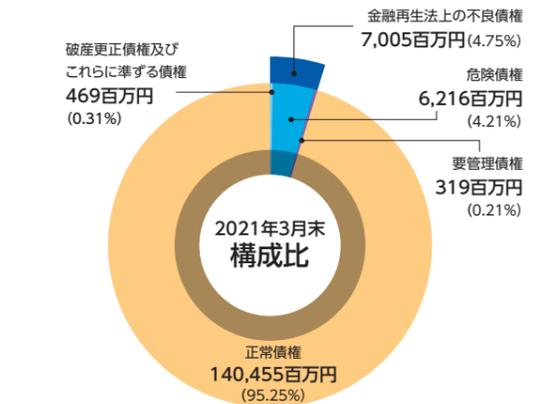
0.04ポイントの低下

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比196百万円増加の7,005百万円となりましたが、正常債権が大きく増加したことから、不良債権比率は、前期比0.04ポイント低下の4.75%となりました。

2020年度

4.75%

金融再生法開示債権



当期純利益は

86百万円の増加

貸出金利回りの低下により貸出金利息は減少したものの、有価証券平残の増加や投資信託解約益の計上などにより資金運用収益が増加したこと等により、当期純利益は前期比86百万円増加し、680百万円となりました。

2020年度

680百万円

